

高知県感染症発生動向調査（月報）

2019年12月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第49週(12月2日～)から第52週(～12月29日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における12月の上位6疾患の合計は、119.29で11月の47.62に比べ著増した。インフルエンザの増加がその主因だが、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の増加も無視できない。インフルエンザは、9月に流行開始し、10月はいったん減少に転じたが、42週で低下が止まり、以後は再び増加に転じ増え続け本格的な流行期に突入した。

1位はインフルエンザで69.60(11月2位11.50)と6倍以上に増加した。2位は感染性胃腸炎で27.23(同1位16.89)、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で13.82(同3位10.01)といずれも増加した。4位は咽頭結膜熱で3.08(同8位2.07)と増加した。5位は手足口病で3.07(同4位4.66)と減少した。6位は水痘で2.49(同10位1.77)と増加した。

2018年からの風疹流行はまだ続いており、予防接種機会がなかった40～57歳の男性を対象に、抗体検査を前置きした上での定期接種(第5期と呼ばれ、麻しん風しん混合ワクチンが使用される)が4月から開始されているが、この接種は停滞していると報道された。

風疹は2018年に累積で2,941例が報告された。2019年第1週～46週の報告数は2,263人であったが、50週までの4週間に25人増えて2,288人となり、流行の勢いは失速してきたが、まだ油断できない。2018年49～52週に高知市からも成人の風疹が3例報告された。

風疹の最大の問題は先天性風疹症候群CRSである。2015年以降に報告がなかったCRSが2019年は、東京で1例が新たに加えられ、計4例(東京都2例、埼玉県、大阪府各1例)となった。2012年(風疹患者2,386人)～2013年(14,344人)の風疹流行で、45例のCRSが出ている。主たる患者の年齢層は、前回2012～13年の流行と同様に、定期予防接種の対象外であった30～50歳代男性である。2020年の東京オリ・パラリンピックまでに流行を終息することを目指したい。

2019年1月から麻疹も流行している。三重県での集会を発端に集団感染が報告され、続いて大阪府で、2月に商業施設での集団発生に至り、他の自治体にも拡大した。

麻疹報告数は、2019年第1～46週に報告されたのは731人であったが、直近4週間で11人増えて742人となり、患者数は2009年以降で最大となった。742人のうち検査診断例が524人、臨床診断例19人、修飾麻疹が199人である。都道府県別では、多い順に、大阪府149(前月に比べ+1)人、東京都124(同+3)人、神奈川県93人、三重県55人、兵庫県51(同+2)人、愛知県41人、埼玉県35人であった。四国では、徳島県から第44週に2019年初めの報告が1例あったが、以後の増加はなく二次感染は回避しているようである。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	49週	50週	51週	52週	計
1	インフルエンザ		9.52	15.62	21.22	23.24	69.60
2	感染性胃腸炎		5.92	6.60	7.46	7.25	27.23
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.27	3.55	3.72	3.28	13.82
4	咽頭結膜熱		0.73	0.80	0.77	0.78	3.08
5	手足口病		0.97	0.83	0.70	0.57	3.07
6	水痘		0.56	0.68	0.63	0.62	2.49

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の12月の上位6疾患の合計は63.77で11月の27.35と比べて2倍以上に増加した（表2）。本県でもインフルエンザは減少に転じていたが、全国よりも少し遅れて47週から再び増加に転じており、以後は増加の一途で流行期に突入した。定点当たりの数字は都道府県別では下位から3番目で、全国と比較して少ない。

1位はインフルエンザで33.81（11月5位2.00）と著明に増加したが、全国よりも少なかった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で11.89（同1位10.33）とわずかに増加したが、全国よりも少なかった。3位は感染性胃腸炎で10.13（同2位7.16）と増加したが全国よりも少なかった。4位は伝染性紅斑で3.53（同3位3.40）と横ばいで全国よりも多かった。5位は手足口病で2.53（同4位2.57）と横ばいで全国よりも少なかった。6位はマイコプラズマ肺炎で1.88（同6位1.89）と横ばいで全国と同等であった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	49週	50週	51週	52週	計
1	インフルエンザ		2.08	5.35	10.65	15.73	33.81
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.93	2.43	3.40	3.13	11.89
3	感染性胃腸炎		2.30	2.57	3.03	2.23	10.13
4	伝染性紅斑		0.73	0.90	0.90	1.00	3.53
5	手足口病		1.13	0.67	0.23	0.50	2.53
6	マイコプラズマ肺炎		0.50	0.63	0.50	0.25	1.88

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 1623名（11月 96名）。9月に流行が始まり、10月は減少に転じていたが、全国よりも少し遅れて47週から再び増加に転じ、その後増え続けて流行期に入った。定点当たりの数字は都道府県別では下位から3番目で、全国と比較して少なく、県外が先行している。それでも、12月としては新型インフルエンザ騒動の2009年に次いで2番目の大きな数字であった。本県よりもはるかに多い全国は、この時期としては非常に大きな流行となったことを意味している。

県下の全域で発生しており、中央西、高知市、幡多、須崎、中央東、安芸の順に多かった。国内の検出状況は今シーズン直近5週間（46-50週）では、AH1pdm09が最多で96%（353件）、次いでAH3が3%（10件）、B（ビクトリア系統）が1%（4件）である。

県下でのウイルスは、AH1pdm09がインフルエンザの患者から12件、その他の診断の患者から2件検出され、今季流行の主体である。

2) 咽頭結膜熱

報告数 52名（11月 44名）。例年並の報告数である。須崎、幡多、高知市、中央西から表記の順に多かった。ウイルスは咽頭結膜熱の患者からAdenovirus 3型が1件、伝染性紅斑と記載された患者から54型が1件、その他の診断の患者から1型、2型、5型、11型が各1件検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 357名（11月 510名）。本年9-11月以降、この時期として過去10年で最高の報告数で推移し、12月は2015年に次いで2番目に多い数だった。県下全域から報告され、特に中央西、高知市、須崎から報告が多かった。細菌は*Streptococcus pyogenes* T1とT25が各1件検出されている。

4) 感染性胃腸炎

報告数 304名（11月 215名）。前月よりも増加したとはいえ、この時期としては最も少ない報告数である。

県下全域から報告があり、特に幡多、高知市から多く報告された。病原体は、Norovirus GII NTが3件、Sapovirus genotype unknownが2件、加えてその他の診断の患者からSapovirus genotype unknownが2件検出されている。

5) 水痘

報告数 33名（11月 33名）。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。安芸以外の県下全域からほぼ均等に報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 76名（11月 77名）。2月に流行が終息していたが、5月から流行が始まり大流行となった。7月は、1カ月の報告数として過去10年間で3番目の大きな流行であった。8月以降は減り続けていたが12月は横ばいで流行終息には至っていない。県全域から報告があり、特に多かったのは幡多、高知市である。手足口病の診断の患者からCoxsackievirus A16型が4件検出された。

6月からのCoxsackievirus A6流行中は、高熱を伴い経口摂取が低下して、入院を要する例が多く、皮疹の分布・性状が非定型的であった。このことは、手足口病の診断の患者からA6が43件検出されたのに対して、その他の診断（大半は臨床診断が困難な例が多く含まれる）の患者からA6が計23件検出されたデータに裏付けられている。

9月になって、今年2回目の手足口病流行が到来した保育施設が複数確認され、2回目の罹患を経験した幼児も多くみとめられたが、おおむね定型的な手足口病の臨床像（微熱にとどまり、掌蹠や四肢末端、膝、臀部に丘疹・水疱をみとめる比較的軽症の例）を呈していた。9月の流行はCoxsackievirus A6にかかわってA16感染症が主体を占めた。A6の流行期とは対照的で、8月以降でCoxsackievirus A16が手足口病の患者から17件検出されているが、その他の診断の患者からは1件も同ウイルスは検出されていない。

7) 伝染性紅斑

報告数 106名（11月 102名）。本県で本年7月以降は、同時期としては過去10年間で最も多い報告数で推移している。特に10月は過去10年間で最多の報告数（時期を問わず）を記録した。年齢分布は5～9歳が54.7%、1～4歳が36.8%で大部分を占めている。県全域から報告されたが、安芸、須崎、高知市の順にとくに多く報告された。human parvovirus B19は、伝染性紅斑の患者から2件検出された。

8) 突発性発疹

報告数 43名（11月 41名）。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 3名（11月 10名）。6月から流行し、8月に減少に転じていたが、9月は再び増加し、10月以降減少し終息に向かっている。中央西から3名報告があった。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 7名（11月 5名）。幡多、須崎、高知市から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 30名（11月 20名）。2019年も2018年同様に流行開始が早く、8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いた。11月は激減したが12月に再び増加した。幡多、中央東、高知市、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスはその他の診断の患者からRS virus A型が1件検出されている。

12) 流行性角結膜炎

報告数 3名（11月 4名）。高知市2名、安芸から1名から報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（11月 0名）。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名と減少傾向である。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告は皆無であり、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（11月 0名）。年間20-30人台の報告数で推移していたが、2017年7人、2018年1人、2019年5人と報告が少ない。

15) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 15名（11月 15名）。高知市、中央東、安芸の順に多く報告された。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 25名（11月 32名）。平年並の変動である。安芸、中央東、幡多、高知市から表記の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 1名（11月 0名）。高知市から1名報告された。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例の報告があり、2019年は2例である。

高知県感染症発生動向調査部会

前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（令和元年12月）

類型	病名	2019年												総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2	結核	11	10	9	5	14	11	10	12	6	10	2	3	103
3	腸管出血性大腸菌感染症								3		1	4	1	9
	腸チフス									1				1
4	A型肝炎					1			1					2
	E型肝炎										1	1		2
	つつが虫病											1	2	3
	デング熱									1			1	2
	日本紅斑熱					2	1		1	1	4	1		10
	レジオネラ症	1	1				2	1	1	1				7
	重症熱性血小板減少症候群				1	1	2		1			1		3
	マラリア								1					1
5	アメーバ赤痢			1	1	1								3
	ウイルス性肝炎	1												1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4	2	1	1	1		1	2	4			20
	急性弛緩性麻痺									1		1		2
	急性脳炎	1				1								2
	クロイツフェルト・ヤコブ病								1					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1								2
	後天性免疫不全症候群				1									1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1					1	1				3
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	1	1	4	1	1	2		1	2	4	22
	破傷風					1							1	2
	梅毒	2	4			5	2	1		4		1	1	20
	百日咳	13	20	20	12	18	10	12	14	12	20	11	10	172
総計	35	43	34	22	50	30	25	39	29	43	24	26	400	

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2019年

12月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	31	230	662	356	86	258	1,623	96	864
小児科	咽頭結膜熱			27	2	8	15	52	44	38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	18	204	64	27	42	357	310	228
	感染性胃腸炎	10	62	113	25	17	77	304	215	523
	水痘		9	13	5	1	5	33	33	24
	手足口病	1	2	45	5	1	22	76	77	45
	伝染性紅斑	19	17	50	8	10	2	106	102	33
	突発性発疹		7	20	5	4	7	43	41	35
	ヘルパンギーナ				3			3	10	5
	流行性耳下腺炎			3		1	3	7	5	7
	RSウイルス感染症		9	9	1		11	30	20	57
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎	1		2				3	4	5
STD	性器クラミジア感染症			2				2	2	1
	性器ヘルペスウイルス感染症									1
	尖圭コンジローマ								2	
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎	1	2	12				15	15	8
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			1				1	2	1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7	4	11			3	25	32	21
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1				1		
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		72	360	1,175	474	155	445	2,681	1,010	1,896
前月		30	124	506	128	44	178			
前年同月		48	578	803	151	158	158			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

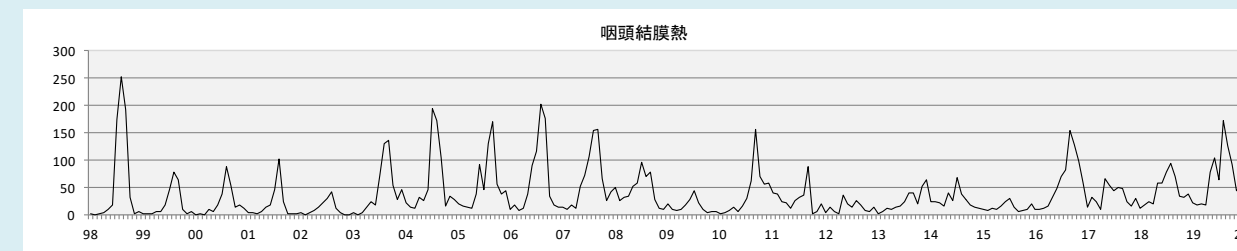
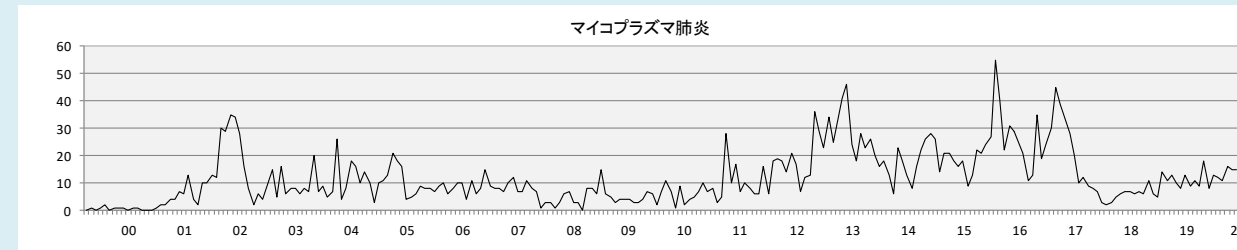
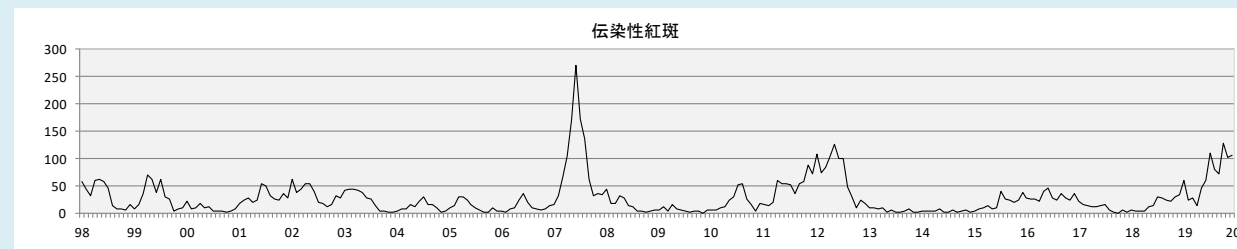
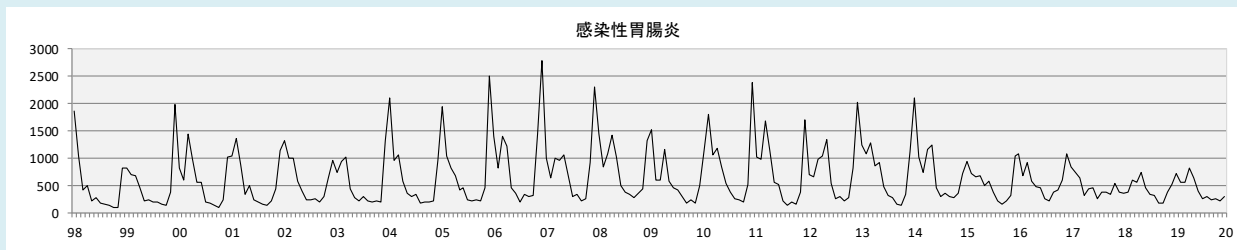
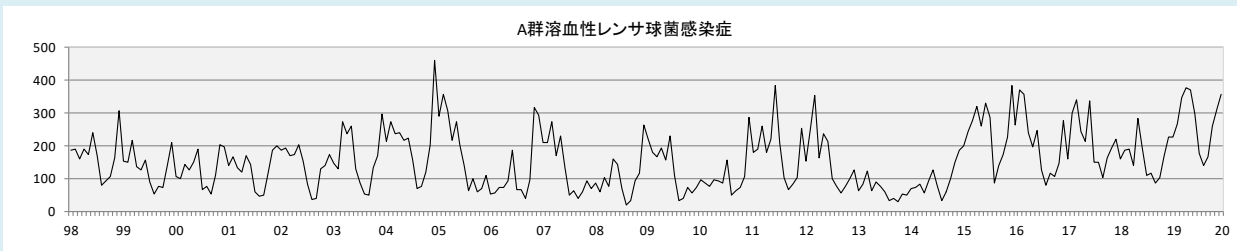
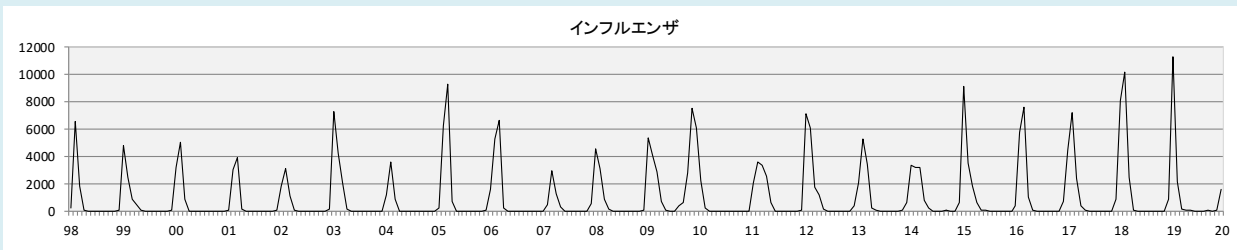
2019年

12月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	7.75	20.91	41.39	71.20	21.50	32.25	33.81	2.00	18.01
小児科	咽頭結膜熱			2.45	0.66	4.00	3.00	1.73	1.47	1.27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	2.58	18.54	21.34	13.50	8.40	11.89	10.33	7.60
	感染性胃腸炎	5.00	8.86	10.27	8.34	8.50	15.40	10.13	7.16	17.44
	水痘		1.29	1.17	1.67	0.50	1.00	1.10	1.11	0.80
	手足口病	0.50	0.28	4.09	1.66	0.50	4.40	2.53	2.57	1.50
	伝染性紅斑	9.50	2.42	4.54	2.66	5.00	0.40	3.53	3.40	1.10
	突発性発疹		1.00	1.81	1.66	2.00	1.40	1.44	1.36	1.16
	ヘルパンギーナ				1.00			0.10	0.34	0.16
	流行性耳下腺炎			0.27		0.50	0.60	0.23	0.17	0.23
	RSウイルス感染症		1.29	0.82	0.33		2.20	1.00	0.68	1.90
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎	1.00		2.00				0.99	1.33	1.66
STD	性器クラミジア感染症			1.00				0.33	0.33	0.17
	性器ヘルペスウイルス感染症									0.17
	尖圭コンジローマ								0.33	
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎	1.00	2.00	2.40				1.88	1.89	1.01
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			0.20				0.13	0.26	0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7.00	4.00	2.20			3.00	3.13	4.00	2.63
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			0.20				0.13		
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		23.75	38.63	85.35	110.52	56.00	69.05	67.49	30.59	51.17
前月		13.50	16.39	40.82	38.26	21.75	33.84			
前年同月		16.00	66.63	60.26	41.22	62.25	27.26			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)
2019年12月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

12月はウイルス75件、細菌2件の搬入があり、そのうちウイルス49件、細菌2件の病原体を検出し、また、2019年11月に搬入された検体でウイルス7件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 1件、Adenovirus 2 2件、Adenovirus 3 1件、Adenovirus 5 1件、Adenovirus 11 1件、Adenovirus 54 1件、Coxsackievirus A16 4件、Coxsackievirus B2 1件、Coxsackievirus B3 1件、Coxsackievirus B5 4件、Cytomegalovirus 3件、Echovirus 25 1件、Epstein-Barr virus 1件、Herpes simplex virus 1 1件、Human herpes virus 6 5件、Human herpes virus 7 3件、Human parvovirus B19 2件、Influenza virus A H1pdm09 14件、Norovirus GII NT 3件、Respiratory syncytial virus A 1件、Rhinovirus 1件、Sapovirus genogroup unknown 4件であった。また、細菌の内訳は、*Streptococcus pyogenes* T1 1件、*Streptococcus pyogenes* T25 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	2ヶ月	男	無菌性髄膜炎	38℃,肺炎,	髄液	10/29	Coxsackievirus B5
2	1ヶ月	男	上気道炎の疑い	39℃,	髄液	11/18	Coxsackievirus B5
3	1ヶ月	男	無菌性髄膜炎の疑い	39℃,	鼻咽腔ぬぐい液	11/19	Coxsackievirus B5
4	8	男	インフルエンザ様疾患	40℃,上気道炎,	ぬぐい液	11/19	Echovirus 25
5	2	女	伝染性紅斑?	37℃,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	11/22	Adenovirus 2
6	1	男	—	—	ふん便	11/22	Coxsackievirus B2
7	5	男	伝染性紅斑	38℃,上気道炎,発疹,	ぬぐい液	11/25	Coxsackievirus B5 Herpes simplex virus 1
8	6	女	—	38℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/25	Adenovirus 5
9	6	女	—	38℃,嘔吐,嘔気,	ぬぐい液	11/25	Human herpes virus 6
10	1	男	—	40℃,	ぬぐい液	11/27	Human herpes virus 6
11	1	男	—	40℃,	ふん便	11/27	Adenovirus 2
					ふん便		Coxsackievirus B3
					ぬぐい液		Cytomegalovirus
					ふん便		Sapovirus genogroup unknown
12	11	女	急性気管支炎、気管支喘息	38℃,咳嗽,気管支炎,	鼻腔	11/27	Rhinovirus
13	2	女	手足口病	37℃,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	11/28	Coxsackievirus A16
14	6	男	—	40℃,	ぬぐい液	11/28	Human herpes virus 7
15	3	女	インフルエンザ様疾患	39℃,下気道炎,	鼻汁	11/28	Respiratory syncytial virus A
16	8	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,	ぬぐい液	11/30	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1
17	11	男	インフルエンザ	40℃,咳嗽,関節痛,	ぬぐい液	12/2	Influenza virus A H1pdm09
18	5	女	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	12/2	Norovirus GII NT
19	2	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	上気道炎,発疹,	ぬぐい液	12/2	<i>Streptococcus pyogenes</i> T25
20	1	女	手足口病	38℃,発疹,口内炎,	ぬぐい液	12/2	Coxsackievirus A16
21	1	女	手足口病	38℃,水疱,口内炎,	ぬぐい液	12/3	Coxsackievirus A16
22	11	女	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	12/6	Influenza virus A H1pdm09
23	1	女	咽頭結膜熱	39℃,上気道炎,結膜炎,	ぬぐい液	12/6	Adenovirus 3
24	3	女	—	—	尿	12/6	Adenovirus 11
25	4	女	インフルエンザ	38℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/9	Influenza virus A H1pdm09
26	2	男	不明熱	40℃,下痢,嘔吐,嘔気,咳嗽,	ぬぐい液	12/9	Human herpes virus 6
27	1	女	インフルエンザ	38℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/9	Influenza virus A H1pdm09
28	1	女	手足口病	水疱,発疹,口内炎,	ぬぐい液	12/9	Coxsackievirus A16
29	1	男	不明発疹症	40℃,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	12/10	Adenovirus 1
							Human herpes virus 6
30	35	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/10	Influenza virus A H1pdm09
31	9	男	インフルエンザ様疾患	39℃,上気道炎,結膜炎,	ぬぐい液	12/11	Influenza virus A H1pdm09
32	1	女	—	40℃,下痢,咳嗽,	ぬぐい液	12/11	Human herpes virus 6
33	7ヶ月	男	手足口病?	36℃,発疹,	ぬぐい液	12/12	Cytomegalovirus
34	4	男	—	39℃,	ふん便	12/12	Human herpes virus 7
							Sapovirus genogroup unknown
35	7	女	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	12/13	Sapovirus genogroup unknown
36	2	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/13	Influenza virus A H1pdm09
37	1	男	感染性胃腸炎		ふん便	12/13	Sapovirus genogroup unknown
38	1	男	不明発疹症	37℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/14	Epstein-Barr virus

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
39	4	女	インフルエンザ	40℃,上気道炎,	ぬぐい液	12/14	Influenza virus A H1pdm09
40	8	男	伝染性紅斑	38℃,発疹,	ぬぐい液	12/16	human parvovirus B19
41	3	男	伝染性紅斑	39℃,発疹,	ぬぐい液	12/16	human parvovirus B19 Adenovirus 54
42	47	男	—	39℃,筋肉痛,	ぬぐい液	12/16	Influenza virus A H1pdm09
43	9	女	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	12/16	Influenza virus A H1pdm09
44	8	男	インフルエンザ	40℃,下痢,咳嗽,	ぬぐい液	12/16	Influenza virus A H1pdm09
45	9	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/17	Influenza virus A H1pdm09
46	18	女	—	40℃,	ぬぐい液	12/17	Human herpes virus 7
47	2	女	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,	ふん便	12/18	Norovirus GII NT
48	1	男	不明発疹症	37℃,発疹,	ぬぐい液	12/18	Cytomegalovirus
49	2	男	インフルエンザ	39℃,肺炎,	ぬぐい液	12/21	Influenza virus A H1pdm09
50	1	女	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	12/23	Norovirus GII NT
51	4	女	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	12/23	Influenza virus A H1pdm09

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2019年												2019年 総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1	1					2	2					3	1	9
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12			1	2	1									4
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T25													1	1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264						1								1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable			1											1
	計	1		2	2	2	2	2					3	2	16
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	23	29	3	1		1								57
	Influenza virus A H1pdm09	8	4	1					1	6	1	1	12	34	
	Influenza virus B /Victoria		1	2	1	3	1			1				9	
	Human metapneumovirus	1												1	
	計	32	34	6	2	3	2		1	7	1	1	12	101	
咽頭結膜熱	Adenovirus 1						2							2	
	Adenovirus 2			1			2							3	
	Adenovirus 3						1	1		1			1	5	
	Adenovirus 5										1			1	
	Rhinovirus					1					1			2	
	計			1		2	5		1		3		1	13	
感染性胃腸炎	Adenovirus 5		1				1							2	
	Adenovirus 31			1										1	
	Adenovirus 41						1	1	2					4	
	Astrovirus NT		1				3					1		5	
	Coxsackievirus A4				1									1	
	Coxsackievirus A5										1			1	
	Coxsackievirus A6							1						1	
	Echovirus 30								1					1	
	Echovirus 11					1	1							2	
	Norovirus GI NT	1		1								1		3	
	Norovirus GII NT	2	2	2	4	6	1		2				3	22	
	Rhinovirus								1					1	
	Rotavirus group AG3	1												1	
	Rotavirus group AG9				5	2								7	
Sapovirus genogroup unknown	2		2		1		1					2	8		
<i>Salmonella Enteritidis</i>	1												1		
<i>Staphylococcus aureus</i> VII											1		1		
	計	7	4	6	10	11	7	4	4		3	1	5	62	
ヘルパンギーナ	Adenovirus 5							1						1	
	Coxsackievirus A5										1			1	
	Coxsackievirus A6							5						5	
	Coxsackievirus B5										1			1	
	Echovirus 25				1									1	
	計				1			6			2			9	

臨床診断名	病原微生物	2019年												2019年 総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
手足口病	Adenovirus 1						1							1
	Adenovirus 2						1	1	1					3
	Adenovirus 3	1												1
	Coxsackievirus A6						17	24	2					43
	Coxsackievirus A5								2					2
	Coxsackievirus A16								1	4	5	3	4	17
	Cytomegalovirus				1				1					2
	Enterovirus 71						1	1						2
	Herpes simplex virus 1								1					1
	Human herpes virus 6					1					1			2
	Human herpes virus 7					1	1							2
Rhinovirus				1		2							3	
計	1			2	2	23	26	8	4	6	3	4	79	
伝染性紅斑	Adenovirus 54											1	1	
	Coxsackievirus B5										1		1	
	Epstein-Barr virus										1		1	
	Herpes simplex virus 1										1		1	
	Human herpes virus 6										1		1	
	Human herpes virus 7				1		1				1	2	5	
	Human parvovirus B19					1	1	1				4	2	
Rhinovirus						1						1		
計				1	1	3	1			1	10	3	20	
流行性耳下腺炎	Epstein-Barr virus	1		1									2	
	Herpes simplex virus 1	1											1	
	Mumps virus(ワクチン株)								1				1	
計	2		1					1					4	
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B5									1		1	2	
	Echovirus 18							1					1	
	Echovirus 30									1			1	
	Herpes simplex virus 1									1			1	
	Human parvovirus B19									1			1	
	Varicella-zoster virus								1				1	
計								2	3	1		1	7	
RSウイルス感染症	Coxsackievirus B5									1			1	
	Human herpes virus 6									1			1	
	Human metapneumovirus									1			1	
	Respiratory syncytial virus A							1		1			2	
	Respiratory syncytial virus B	2		1							1		4	
計	2		1					1		5			9	
水痘	Varicella-zoster virus													
計														
突発性発疹	Human herpes virus 6						1						1	
	Rhinovirus							1					1	
計							1	1					2	
その他	Adenovirus 1	1	1			1	1	1					6	
	Adenovirus 2	1			2		1		1			1	7	
	Adenovirus 3	1				2			1	1	1		6	
	Adenovirus 4								1				1	
	Adenovirus 5						1						2	
	Adenovirus 11											1	1	
	Adenovirus 31				1								1	
	Adenovirus 41	1		1				1	2				5	
	Astrovirus NT					2							2	
	Coxsackievirus A5									1	2	1	4	
	Coxsackievirus A6					1	9	11	2				23	
	Coxsackievirus B2								1	1	1	1	4	
	Coxsackievirus B3												1	
	Coxsackievirus B5									1	1	5	7	
	Cytomegalovirus	2			4	5	4		1		2	1	3	
	Echovirus 11	2		1		1	3	2		1	2		12	
	Echovirus 25											1	1	
	Echovirus 30									2		1	3	
	Epstein-Barr virus					1					1	1	1	
	Herpes simplex virus 1							3	2	3	1	2	11	
	Human herpes virus 6		3	1	6	2	5	3	3	2	2	1	5	
	Human herpes virus 7			2	3	3	1	2	4	3	2	3	3	
	Human metapneumovirus		1		1		2	1		1	1	2	9	
	Human parvovirus B19							2	3	2		1	8	
	Influenza virus A H3 NT	1											1	
	Influenza virus A H1pdm09	1											2	
	Influenza virus B /Victoria				1								1	
	Measles virus genotype A(ワクチン株)						1						1	
	Norovirus GI NT			1									1	
	Norovirus GII NT	4	1	3	4			1			1		14	
	Parainfluenza virus 1				1								1	
	Parainfluenza virus 3			1	4	2		3					10	
	Parechovirus 1								1	1	1		3	
	Parechovirus 3	1		1				1		1			4	
Respiratory syncytial virus A			1					3	2			7		
Rhinovirus	3	2	3	3	3	6	5	2	5	2	3	1		
Rotavirus group AG9				1								1		
Sapovirus genogroup unknown			1	1				2				2		
計	18	9	15	32	24	37	37	27	25	19	24	23		
総計	63	47	32	50	45	80	76	46	39	41	42	51		

類型	病名	報告年																			総計			
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2018	2019	
2	結核										131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	1750
	計										131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	1750
3	コレラ	1					1						1											3
	パラチフス	2																						2
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2												2			27
	腸チフス	1							1										1				1	4
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	4	9	206
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	4	10	242
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1				2	34
	Q熱	1	1	2				1															5	5
	オウム病			1		1															1		3	3
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3	90	4
	マラリア								2					1									1	4
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	73	172
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10		10	6
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1										2	4
	レフトスピラ症											1		4	2	1					1		9	2
	E型肝炎												1		1								2	9
	デング熱												1				3	2	1				2	9
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	43
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	452	
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3	47	58
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3			3		1		2	1	1	1	110
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	1	1
	急性弛緩性麻痺																					1	2	32
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	1	8
	ジアルジア症		1	2	1						1			1	1							1	1	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1							1							1		1	1	1	2	26
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1	1	1	2	75
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1	1	3		1		3	5	6	2		1	23
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	3	3	2	7	6	9	6	9	1		3	87
	侵襲性インフルエンザ菌感染症															1	4	12	16	18	14	22	7	1
	侵襲性肺炎球菌感染症																						3	7
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1	3		9	1
	播種性クリプトコックス症																		1	3	5		1	32
	髄膜炎菌性髄膜炎									1													1	32
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	196	345
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	173	172
	百日咳																						173	172
	麻しん										5												5	19
	風しん										1	1				4	9	1				3	1	1
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	1105	
新型	新型インフルエンザ																						34	34
	計																						34	34
動物	鳥インフルエンザ														1								1	1
	計														1								1	1
	総計	61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	3584	